

優しい心・優しい言葉・優しい仲間

佐世保市立吉井北小学校 学校通信 22号 R03.10.27(水) 文責 校長 堤 祐子



# 吉井北小の秋~体験学習編~

## \*修学旅行【6年生】

少し前になりましたが、10月14~15日、6年生が修学旅行に出かけました。

今年度はコロナ感染症対策で旅行先を県内 としました。主な行先は次のとおりです

#### 《行先》

1日目…ミライ on 図書館(大村市)→ 長崎空 港 →グラバー園 → ホテル泊

2日目…長崎歴史文化博物館 → 稲佐山(スロープカー) → 長崎バイオパーク

長崎市内の班別自主研修はできませんでしたが、県立図書館・博物館・長崎空港等を見学することで、長崎県の様子をつかむことができました。また、コロナ感染症レベルが下がったことでグラバー園やグラバー通りのお土産屋さん街にも行くことができ、長崎の産業の特色としての観光についても肌で感じることができました。



感心したのは、6年生の行動の目的意識です。事前にしっかり学習をしていたこともあり、学ぼうとする姿勢は素晴らしものがありました。また、班で協力し合って時間を守ったり、優しく言葉かけをしながら助け合ったりする姿が多くみられ、立派な態度でした。

## \*ふるさと環境自然体験・少年科学館理科学習【4年生】



10月22日(金)、4年生がパールシー(九十九島ビジターセンター)と少年科学館に体験学習に出かけました。

午前中は九十九島の生き物について、ビジターセンターの職員の方から教えていただきました。生き物好きが多いこの学年ですから、大いに盛り上がりました。その後は遊覧船「みらい」号で九十九島クルーズです。なんとも贅沢な時間でした。

午後は少年科学館でプラネタリウム、天体観測、理科実験、サイエンスショーです。プラネタリウムは最新の機器が導入されたばかりで迫力満点の星空でした。天体観測も天気が良く、しっかり太陽の観察ができました。理科実験は

3D プリンターでの立体の作成の様子を見せてもらい自分たちも3Dペンで簡単なものを作りました。サイエンスショーでは液体窒素の実験を見せてもらい、科学の不思議と面白さを体感しました。

4 年生という好奇心あふれるこの時期に、体験を通して更に学びを広げました。「生き物」「天体」「自然」「化学」・・・。好きなものや好きなことはどんどん学びを広げてほしいものです。なかでも科学館は科学の学びの宝庫!土日に開館していますので、ぜひまた連れて行ってあげてください。



#### 植物の生命力を強く感じ

**モの収穫【1・2 年生】**10月26日(火)、1・2年生は秋の収穫「い

\* 大きさにびっくり! サツマイ

10月26日(火)、1・2年生は秋の収穫「いもほり」をしました。春に植えた芋のつるがぐんぐん成長して、大きくて立派なお芋になりました。今年は天候が良かったのか、ことさらに大きく成長しています。

たくさんの大きい芋を連ねたつるを、子供たちは大事そうに掘り出し、満面の笑みで得意げに私たちに見せてくれました。

朝顔・ミニトマトに続き、芋や冬野菜の生長は、 ます。この生命のエネルギーをもらって、伸び盛

りの子供たちもぐんぐん成長してほしいと願います。勿論、お世話をしてくださった方々への感謝の心を 忘れないで。

子供たちの日々の様子は HP で適宜発信しております。紙面の都合上お便りには写真が少ししか紹介できませんが、HP ではたくさんの写真で様子をお伝えしております。是非、本校の HP をチェックしてください!



### 自学終了おめでとう!(10/5~10/27)

子供たちの中に、自主学習が定着してきました。校長室前のカウンターは現在82冊です。子供たちも友達のノートをよく見あっています。学年の枠を超え、刺激しあっているようです。先日吉井中学校の学校だよりを拝見すると、子供の意見発表の中に宿題だけでなく自分で考えて家庭学習をすることの大切に気付いたことが書かれていました。自学が定着した子供たちは、中学校に行っても戸惑うことなく自分のための学習ができるようになることでしょう。

6年 河野みうるさん(15冊目) 吉田ゆのさん(9・10冊目)

田代ななこさん(9・10冊目)

5年 田代ゆうとさん(2冊目)

4年 穐山まりなさん(6冊目) 廣永みずきさん(2冊目)



### 校長室の窓から② 「遊びこそ大切な体験」

本校の子供たちは、本当に外遊びが大好きです。朝からも昼休みもよく外で元気に遊んでいます。

子供たちが遊ぶ様子を見ていると、「てんか」というボール投げゲームをよくしているのですが、よく 異学年で遊んでいます。4月から比べると、子供たちがボールを投げる強さが格段に増してきたという印 象を受けます。中には、女の子でも男の子以上に強いボールを投げる子もいれば、低学年が高学年の投げ た強いボールを受け止めることもしばしばです。横で見ていて「すごいなあ。」と感心します。当たると

「痛くないのかな?」とヒヤッともしますが、それでも子供は負けていません。 果敢に向かっていきます。低学年でも高学年相手にチャレンジすることが楽し いようですし、高学年も受け止めながらも無茶をせずに上手に遊んであげてい ます。こうしていつの間にか強くたくましく、そして仲良くなっていくのです ね。

遊びこそ、大切な体験です。遊びの中でもまれながらも異学年同士でお互い に理解しあい、「やさしい心」につながればよいなあと、見ている私です。



